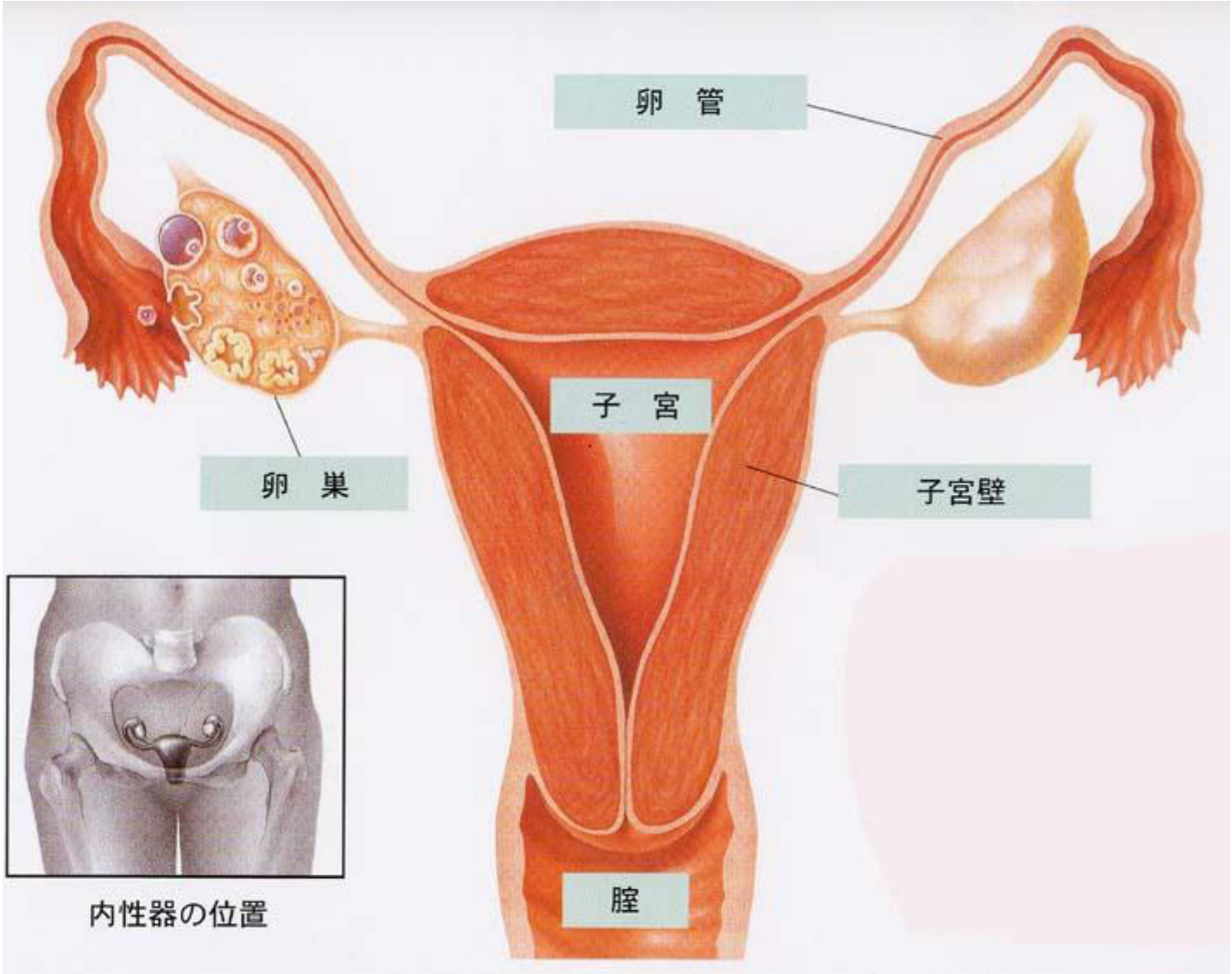
2009/7/26

_____様

# 正　常　解　剖

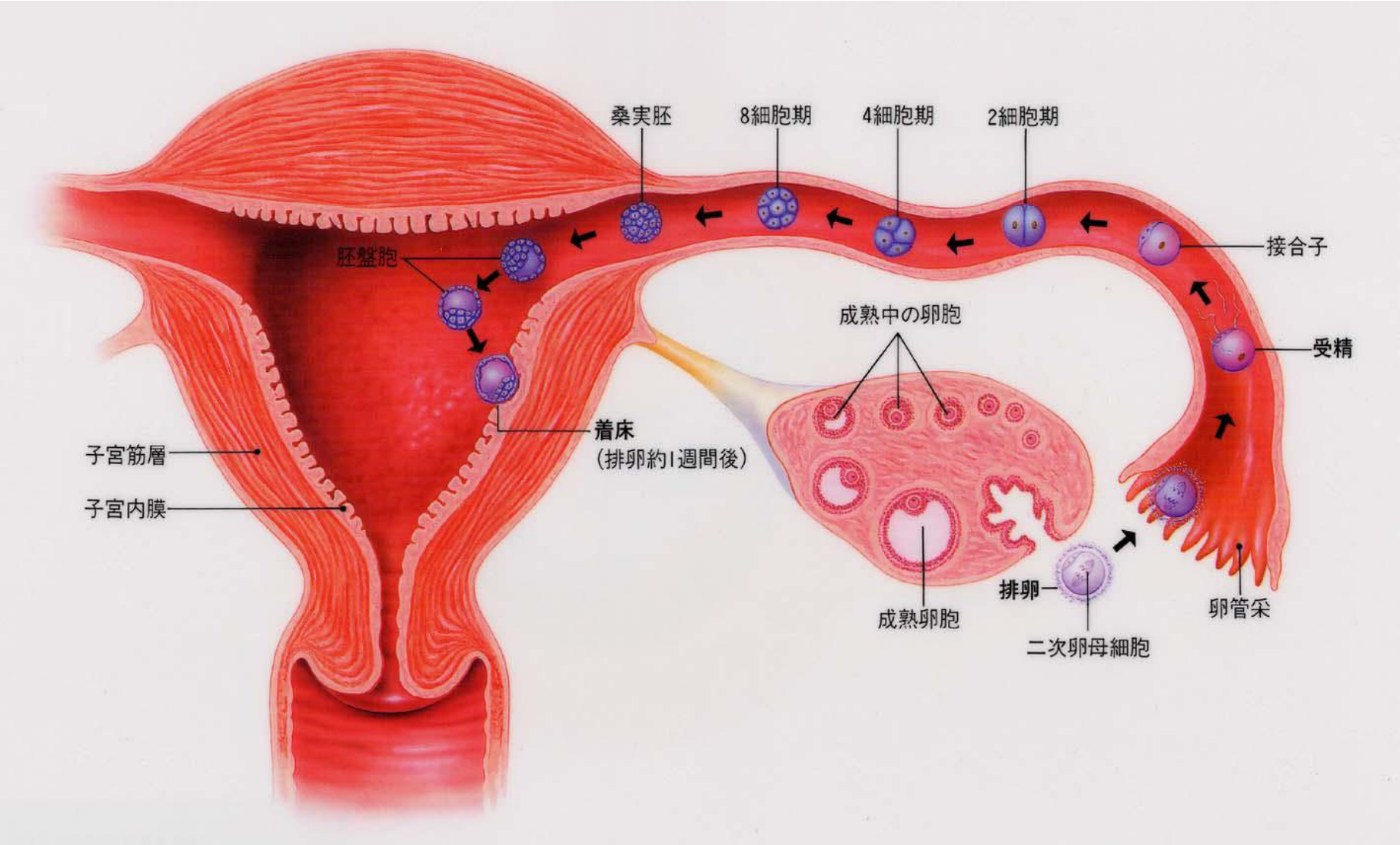



下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# 妊 娠 成 立 ま で

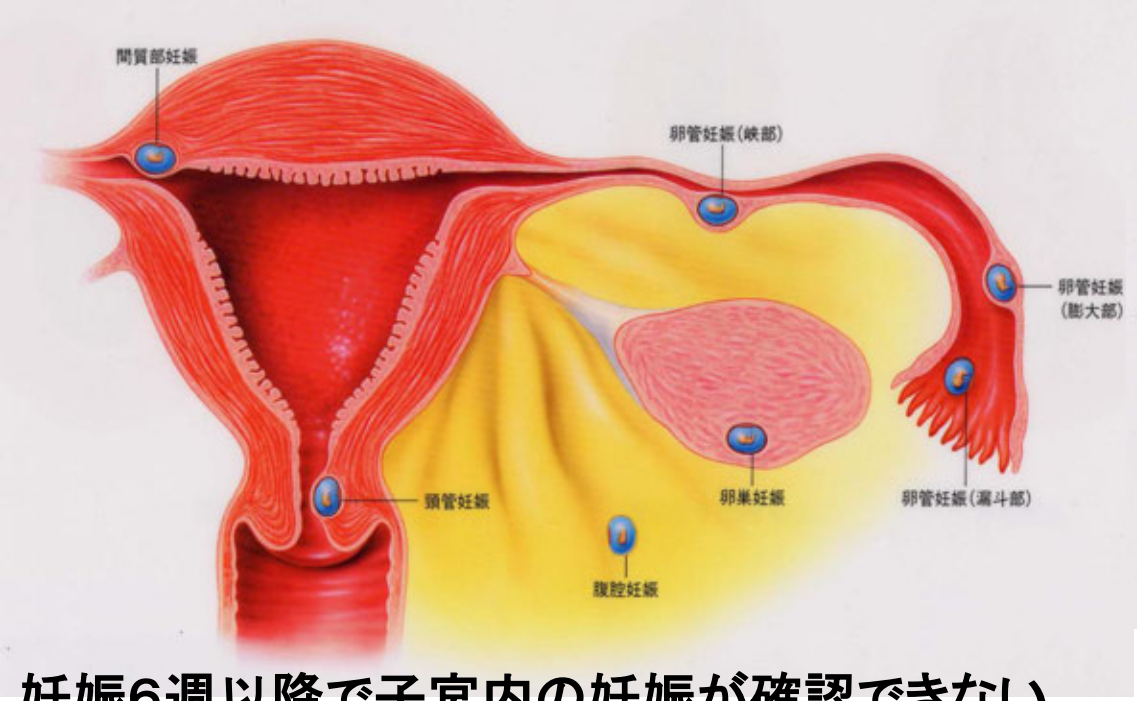


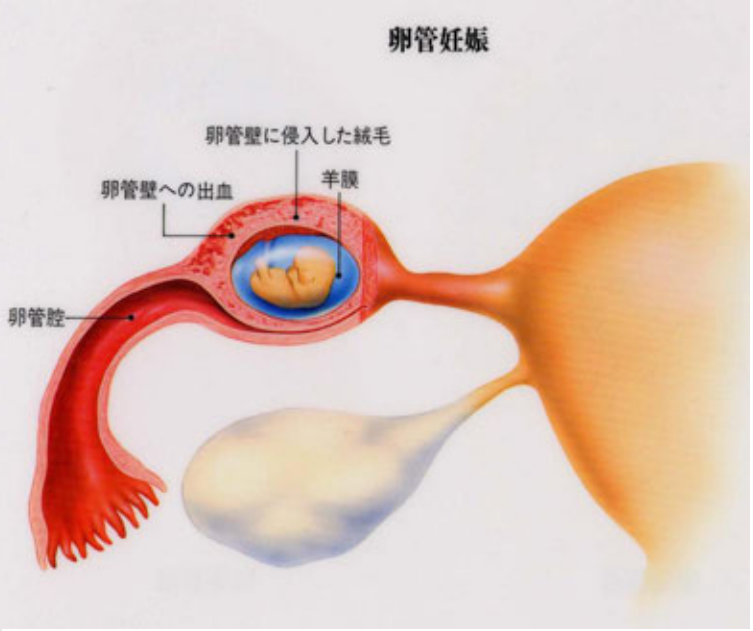

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# 子　宮　外　妊　娠




妊娠6週以降で子宮内の妊娠が確認できない

血中の妊娠性ホルモンhCGが10000以上にもかかわらず子宮内妊娠が確認できない

卵管妊娠が一番多い

破裂前であれば、腹腔鏡による治療が可能で、卵管も温存できることがある

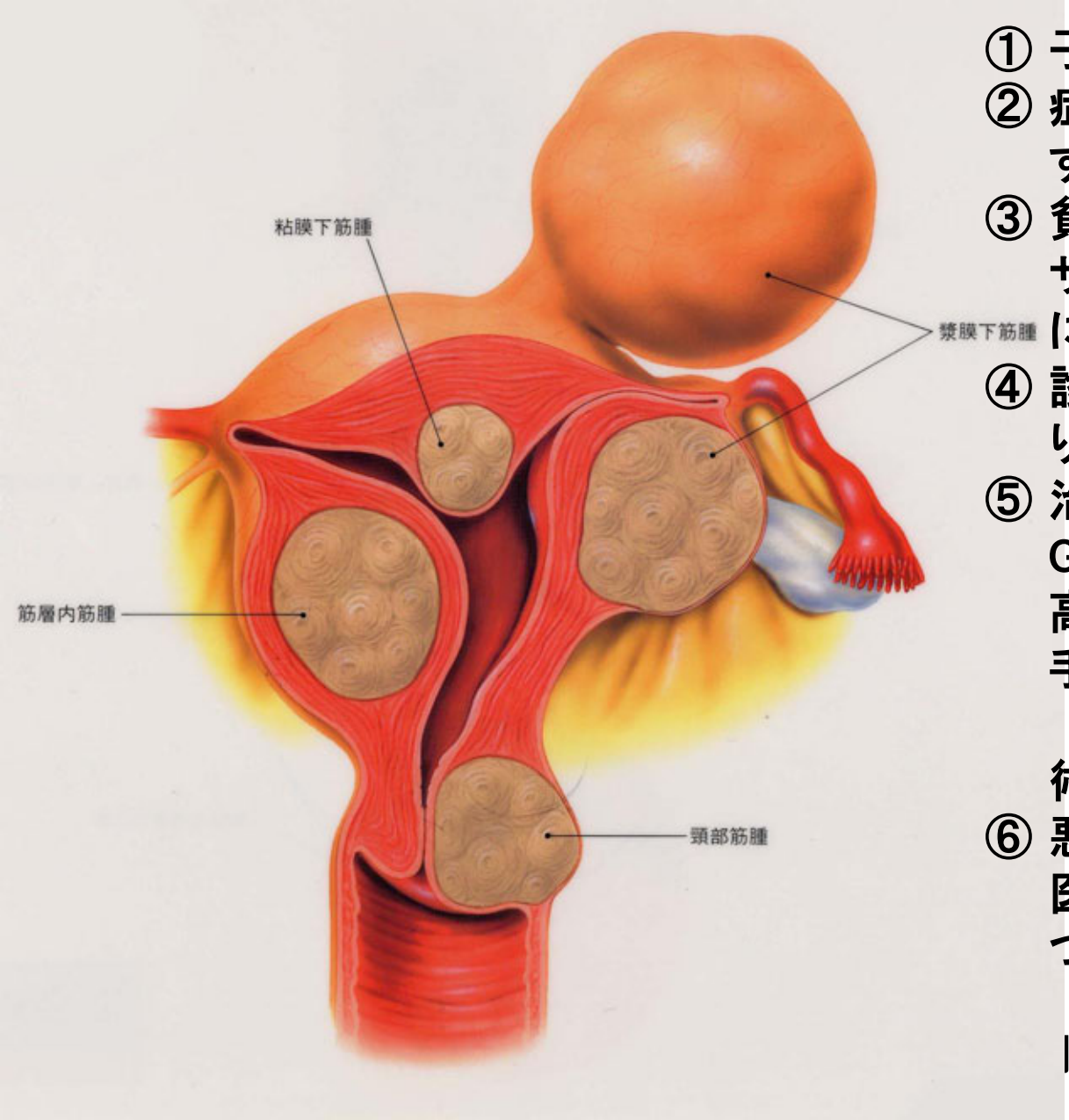
診断は8日間で2回超音波検査を行い、血中hCGを測定する

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

_____様

# 子　宮　筋　腫

2009/7/26



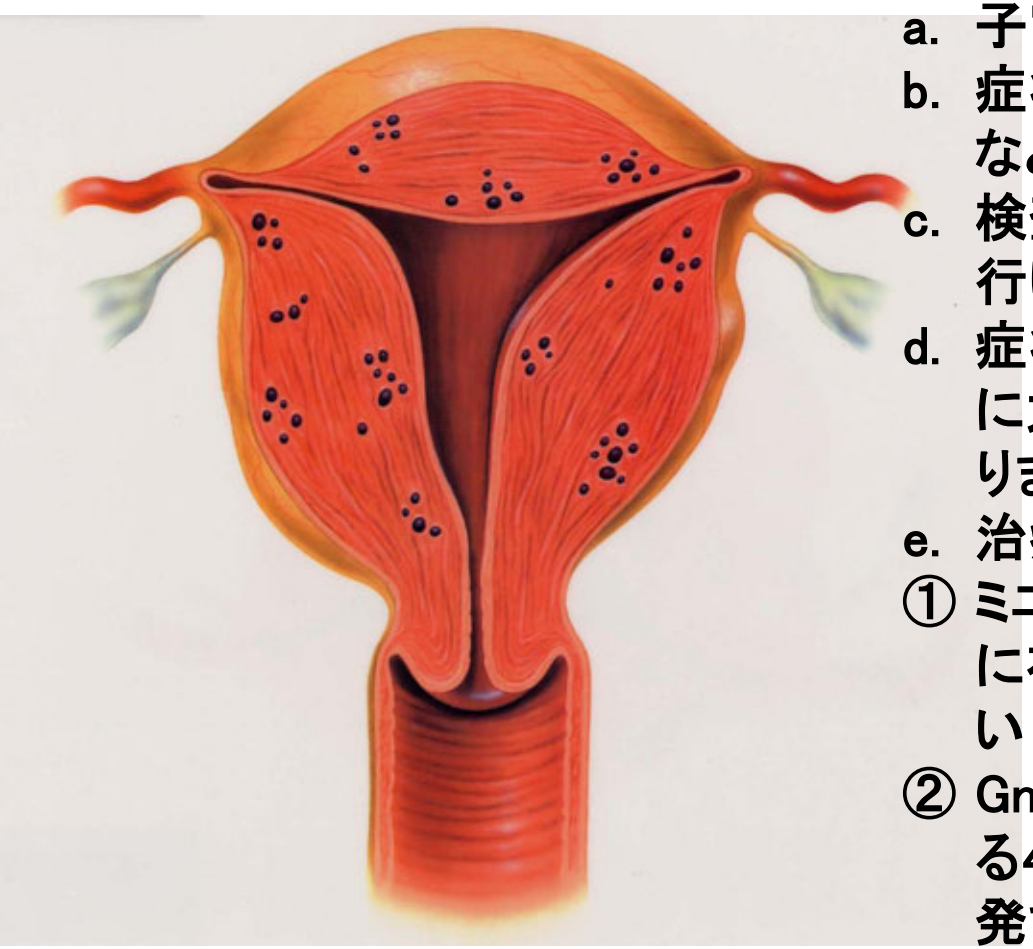

① 子宮にできる良性のこぶです
② 症状は過多月経が多いようです
③ 貧血や腹痛を伴う方、筋腫のサイズ（特に5cm以上）や性質により治療の対象となります
④ 診断は超音波、MRI、などによります
⑤ 治療法：
GnRH；偽妊娠療法（再発率が高い）
手術；腹式・腟式子宮全摘
　　挙児希望の方は筋腫核出術
⑥ 悪性疾患ではありませんので、医師と充分相談の上、治療について決定してください


川市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# 子宮腺筋症



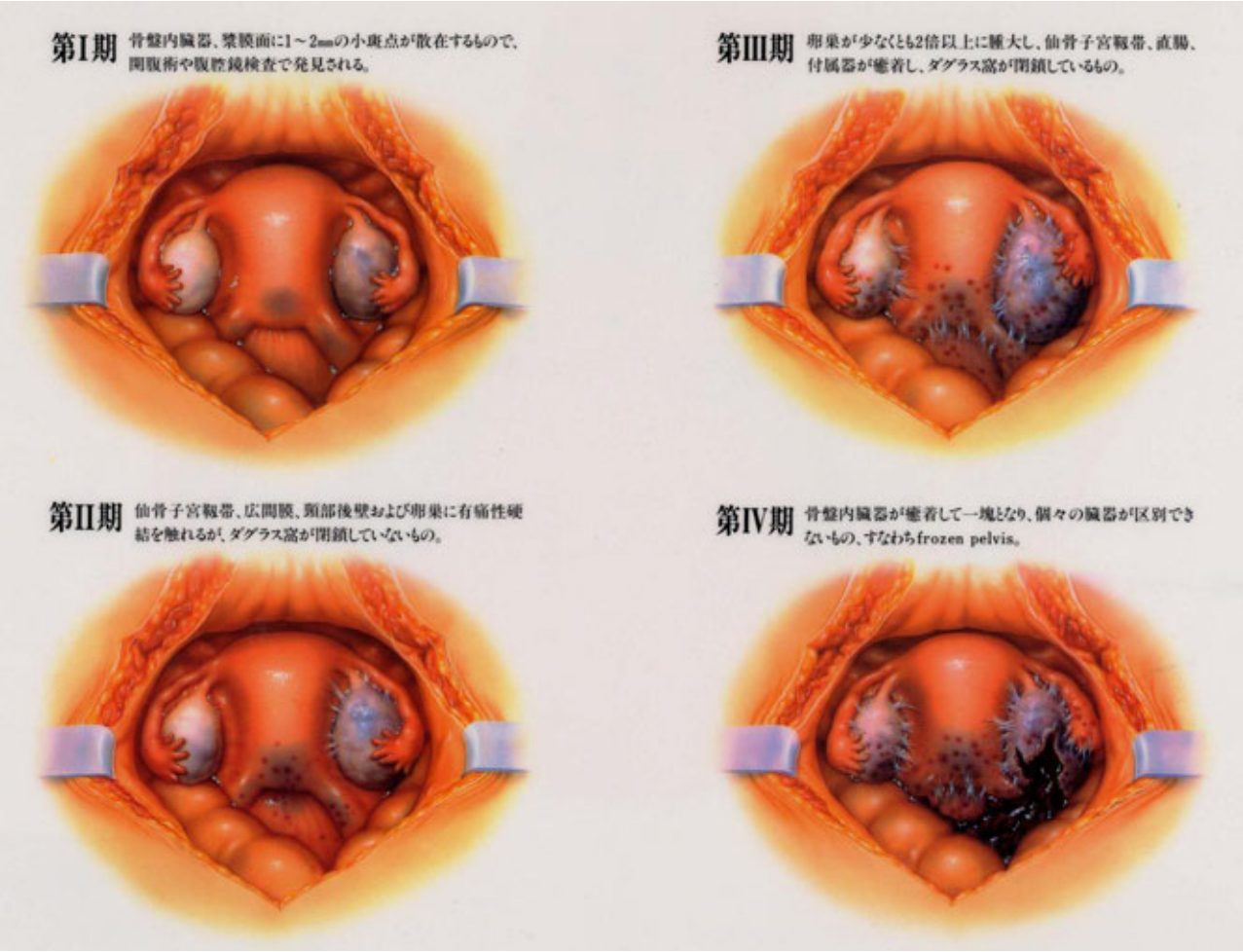
a. 子宮の筋層が厚い状態です
b. 症状としては過多月経、月経痛、貧血などです
c. 検査は超音波検査、MRI、血液検査を行います
d. 症状や貧血が強い場合、子宮が異常に大きくなった場合に治療が必要となります
e. 治療法
① ミニピルによる月経コントロール；非常に有効な治療だが、長期治療ができない
② GnRH（リュープリン、ゾラッデクス）による4～6ヶ月間の無月経期間；1年で再発する
③ 手術（子宮摘出）；保存療法が無効なとき

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

_____様

2009/7/26

# 子宮内膜症




1. 月経困難症の程度
2. 診断：超音波、MRI
   血液検査CA125
3. 不妊症との関連
4. 治療：
   対症療法
   低用量ピル
   GnRHによる偽妊娠療法
   腹腔鏡
   漢方薬

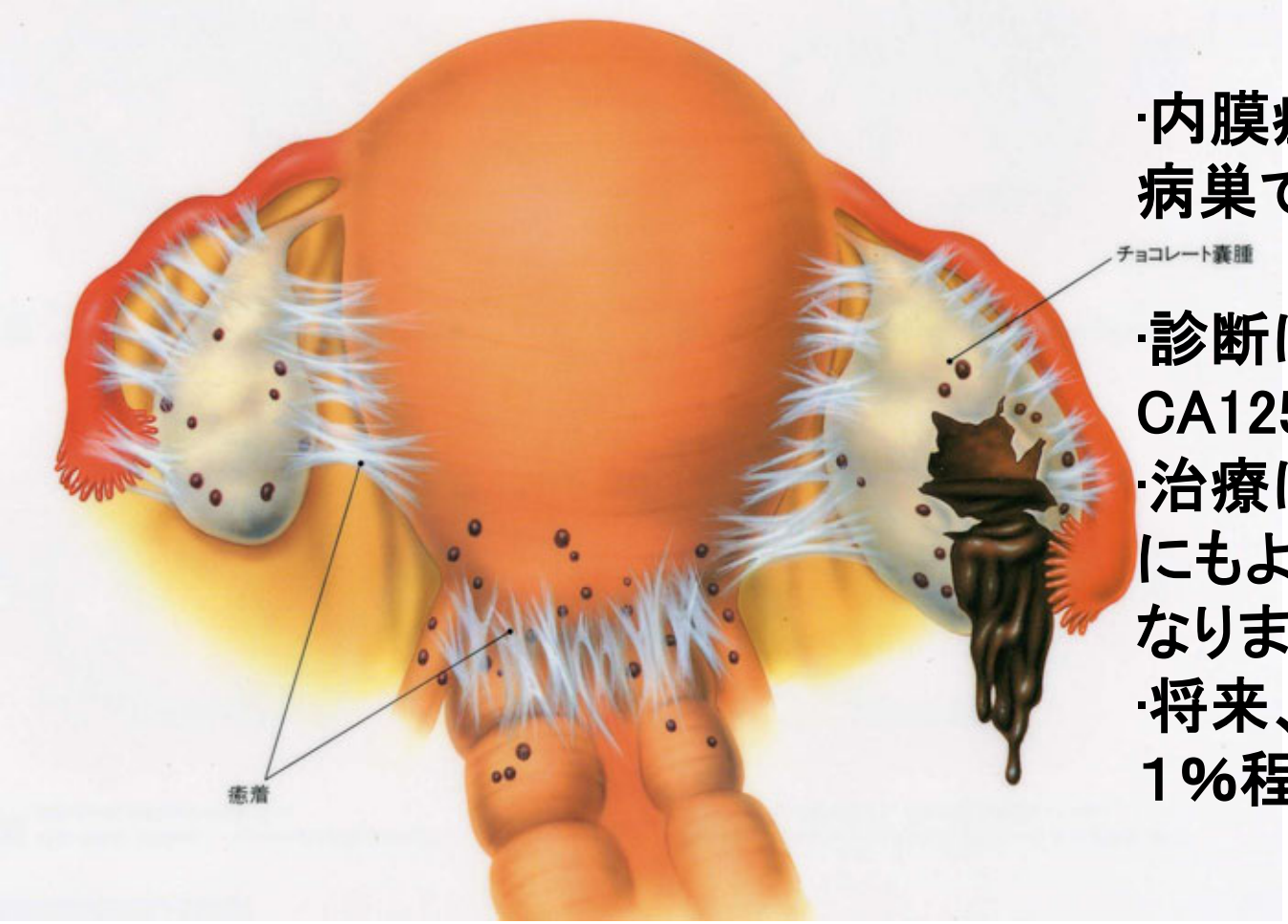
**現在のあなたの生活環境や月経困難症の程度に応じた治療を目指しましょう**

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# チョコレート嚢腫



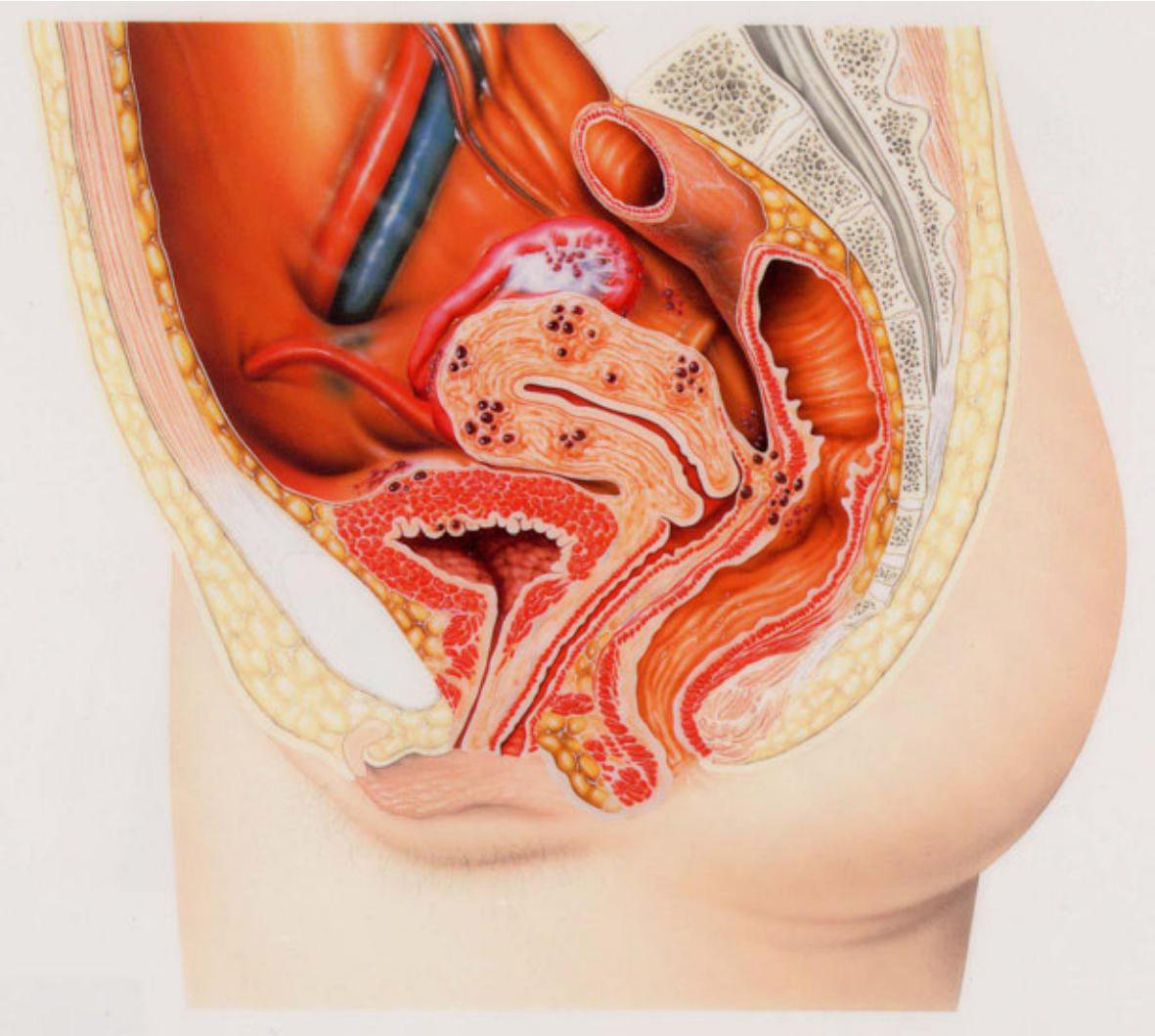

- 内膜症の卵巣における病巣です
- 診断は超音波、MRI、CA125で行います
- 治療は腹腔鏡が大きさにもよりますが、中心となります
- 将来、癌化する確率は１%程度です

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# 子宮腺筋症と内膜症

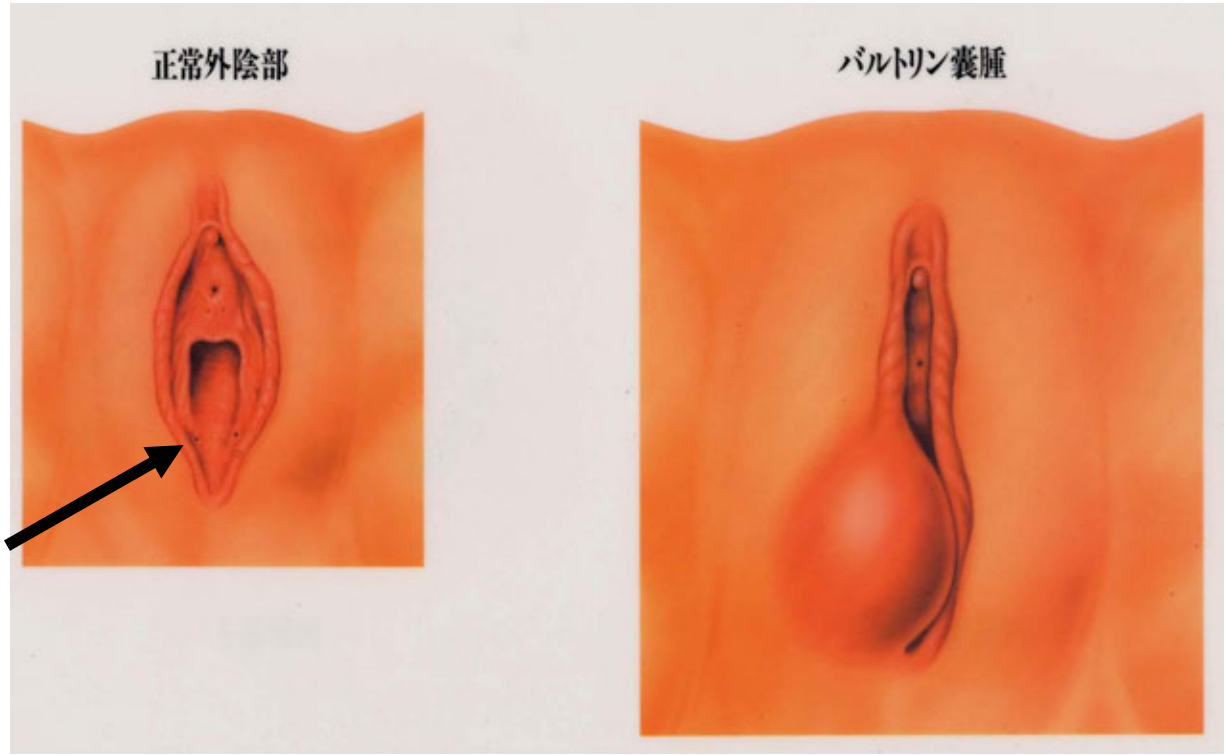


下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# バルトリン腺嚢腫




① バルトリン腺開口部の閉鎖により分泌液が溜まることによりおこります

② 感染を起こすと痛みを伴います

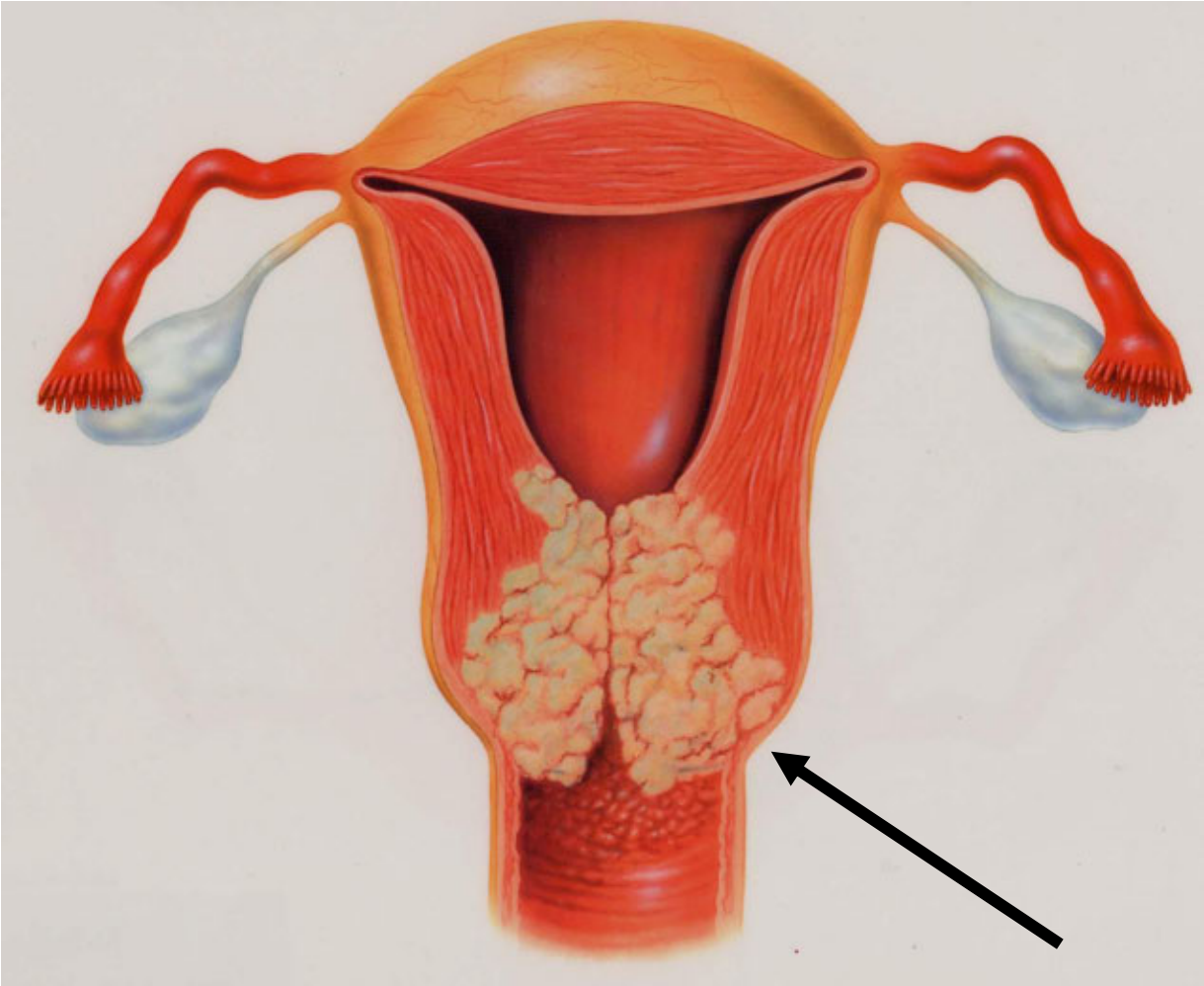
③ 治療は最初は穿刺による排膿でもよいですが、繰り返し再発する方では嚢腫摘出をおすすめします

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# 子宮頚癌

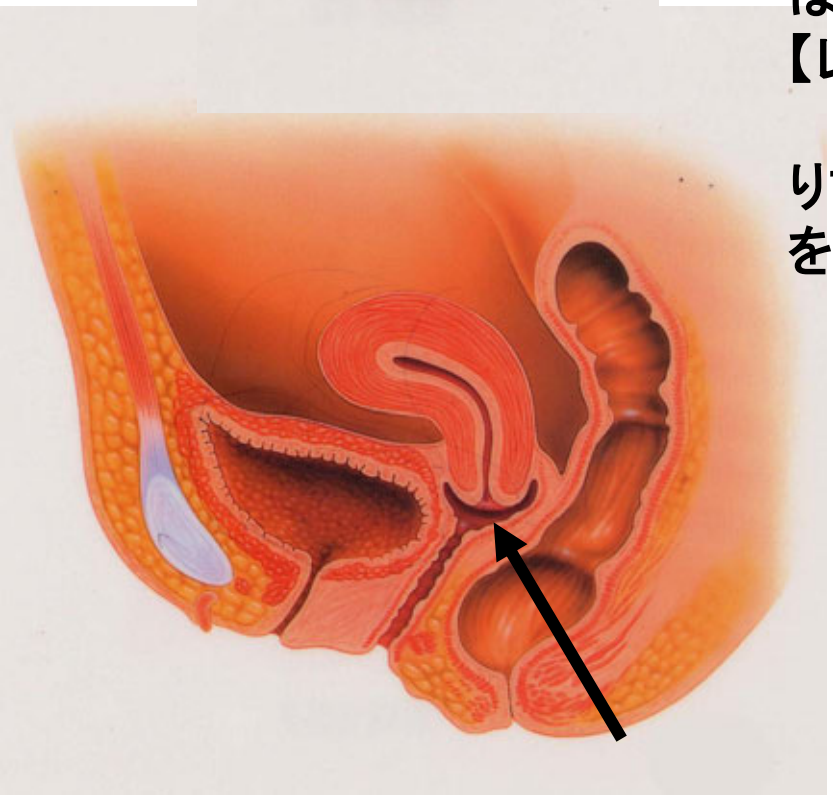


下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# 子宮膣部びらん



女性ホルモンの作用により子宮膣部開口部にできる出血しやすい部位のことです

子宮頚癌発生しやすい部位ですので、癌検査を必ず受けるようにしましょう

性交時出血を認めたり、おりものがふえる場合は治療の対象となります

【レーザー蒸散】

レーザー治療は外来で簡単にでき、痛みもありません　外来担当医と充分に話し合って治療を受けてください

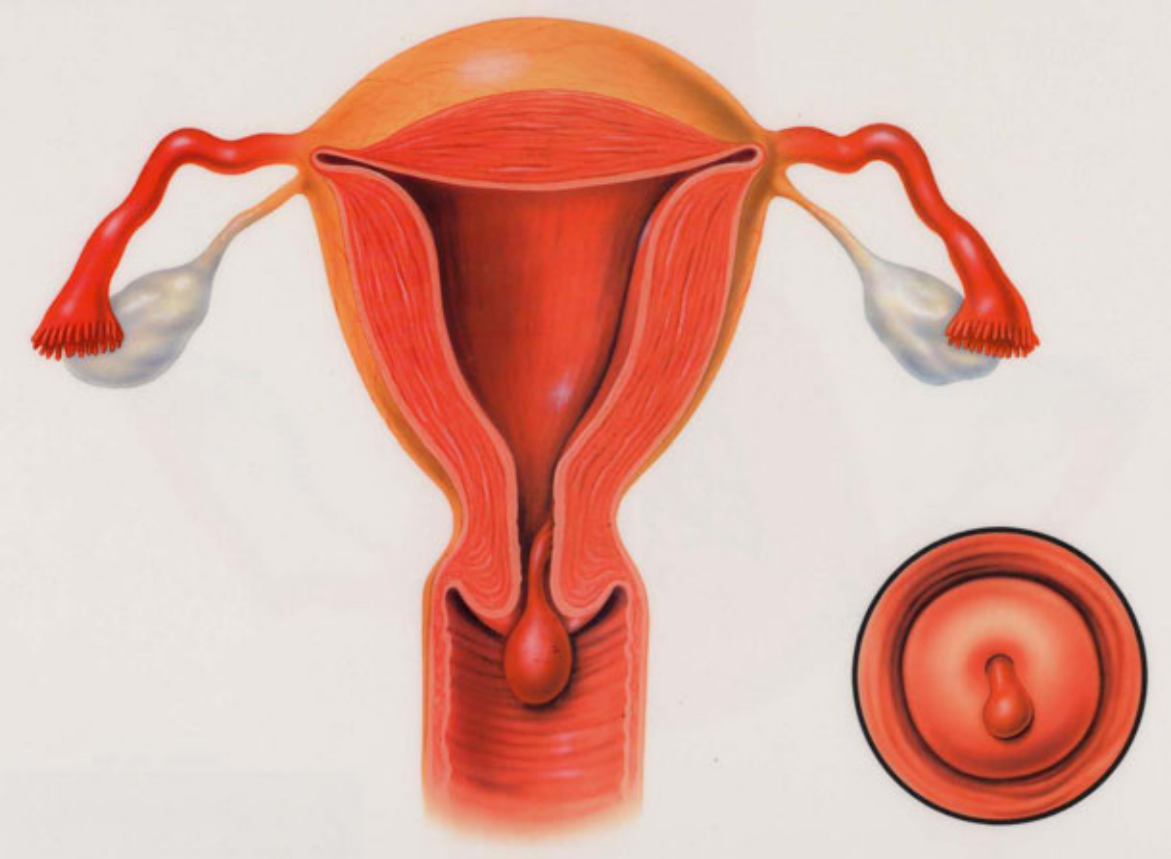
治療当日はシャワー浴としてください

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# 子宮頚管ポリープ



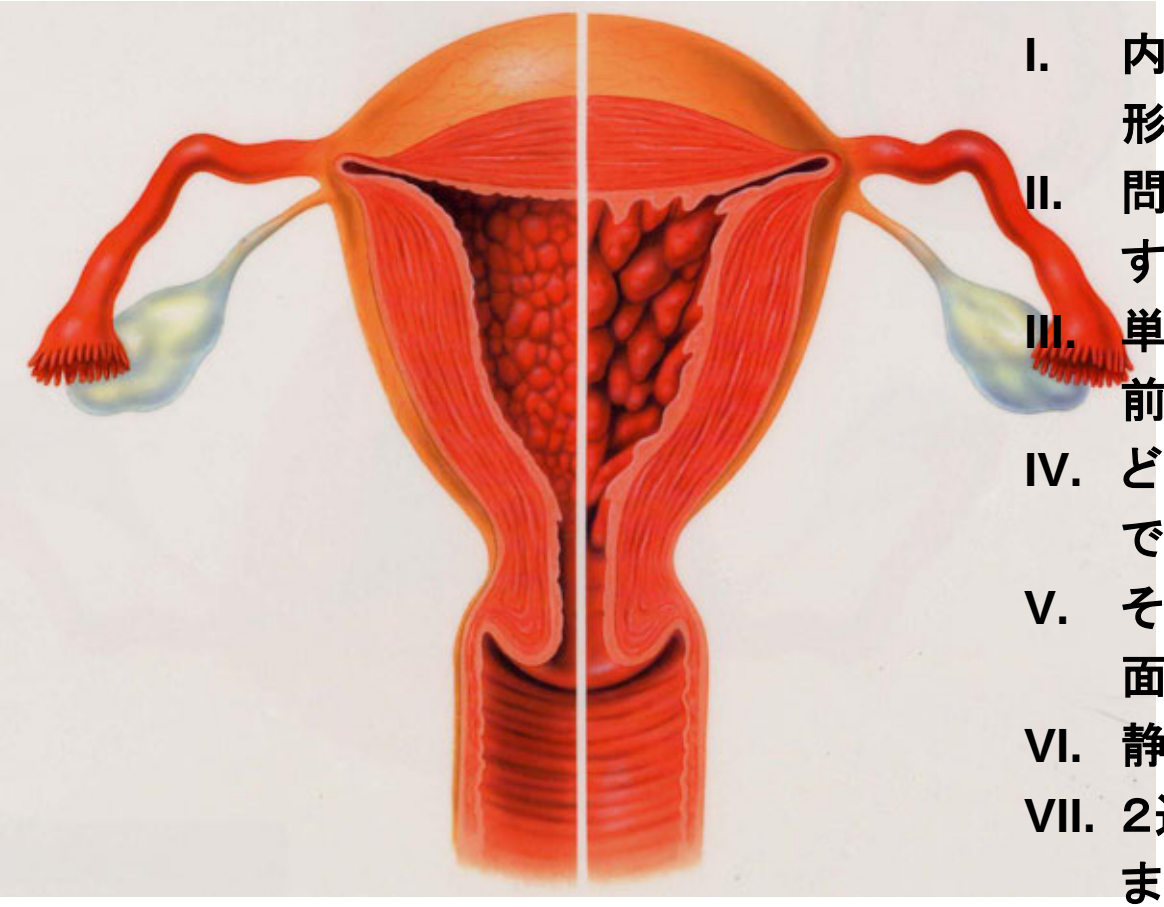
i. 子宮頚管開口部にできる良性のポリープです（悪性であることはまれです）
ii. 性交などにより出血の原因となります
iii. ポリープ除去術は外来で痛みも伴わず簡単に摘出できます
iv. 除去術当日はシャワー浴のみとしてください
v. １～２週間で病理検査の結果がでますので来院してください

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# 子宮内膜増殖症



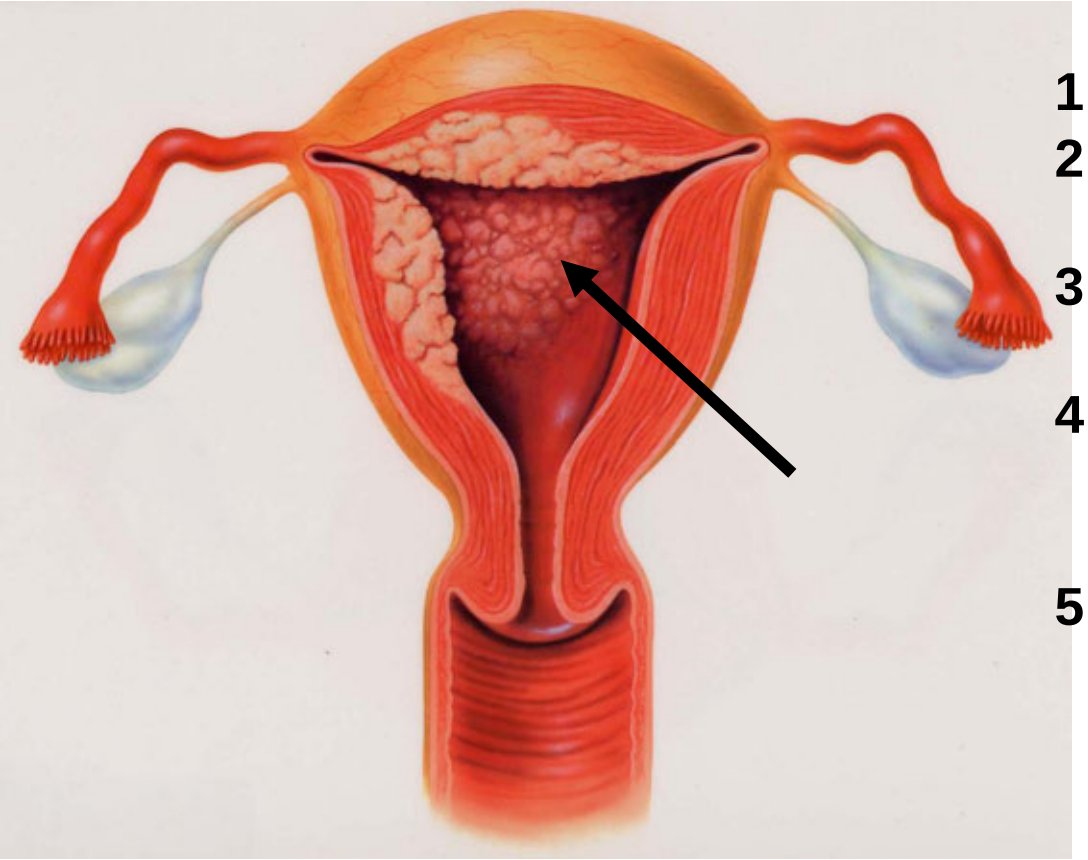
I. 内膜増殖症には単純型、混合型、異形などの種類があります
II. 問題となるのはそれぞれの癌化率です
III. 単純型では1%未満、混合型で5%前後、異形型では20～30%
IV. どの型であるか正確な診断が必要です
V. そのためには日帰りの子宮内膜全面掻爬が必要です
VI. 静脈麻酔で行います
VII. 2週間ぐらいで病理検査の結果がでますので、その後の方針を医師と話し合ってください

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# 子宮体癌



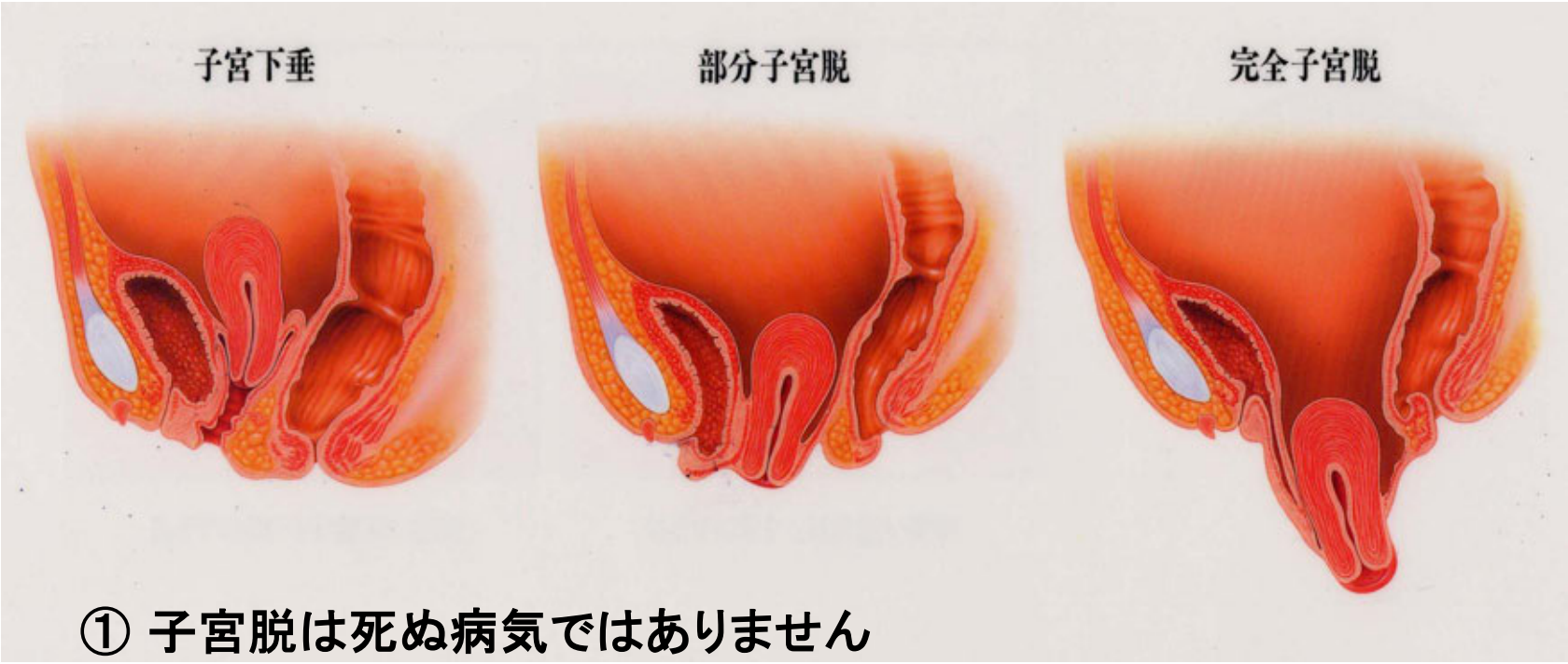
1. 子宮内膜にできる癌です
2. 入院の上、精密・術前診断を行い、治療を行いましょう
3. 術後3週間目から化学療法が必要となる場合があります
4. 比較的早期の発見例が多く、きちんと治療すれば、生命の危険は避けられることが多いようです
5. 医師と充分に病状や治療方針について話し合ってください

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# 子　宮　脱




① 子宮脱は死ぬ病気ではありません

② 脱の進行により、頻尿や違和感、出血などの症状が出ます

③ 当院では治療は手術療法を中心に行っています

④ <u>腟式に子宮を摘出</u>し、腟壁を形成して再発しないようにします

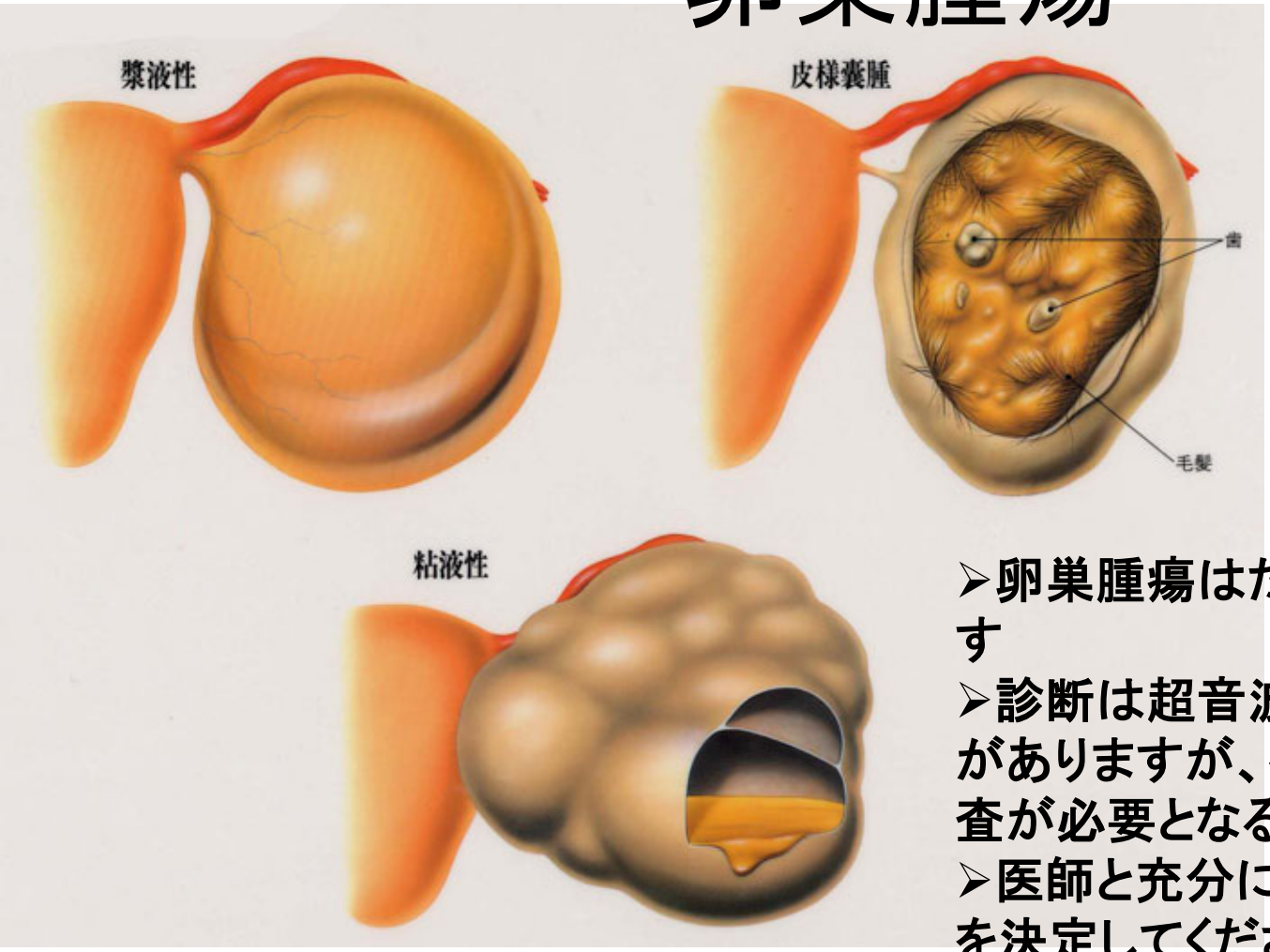
⑤ 入院期間はだいたい10日前後です

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# 卵巣腫瘍




- 卵巣腫瘍はたくさんの種類があります
- 診断は超音波、MRI、血液検査などがありますが、確定診断には病理検査が必要となる場合があります
- 医師と充分に相談の上、管理方針を決定してください

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

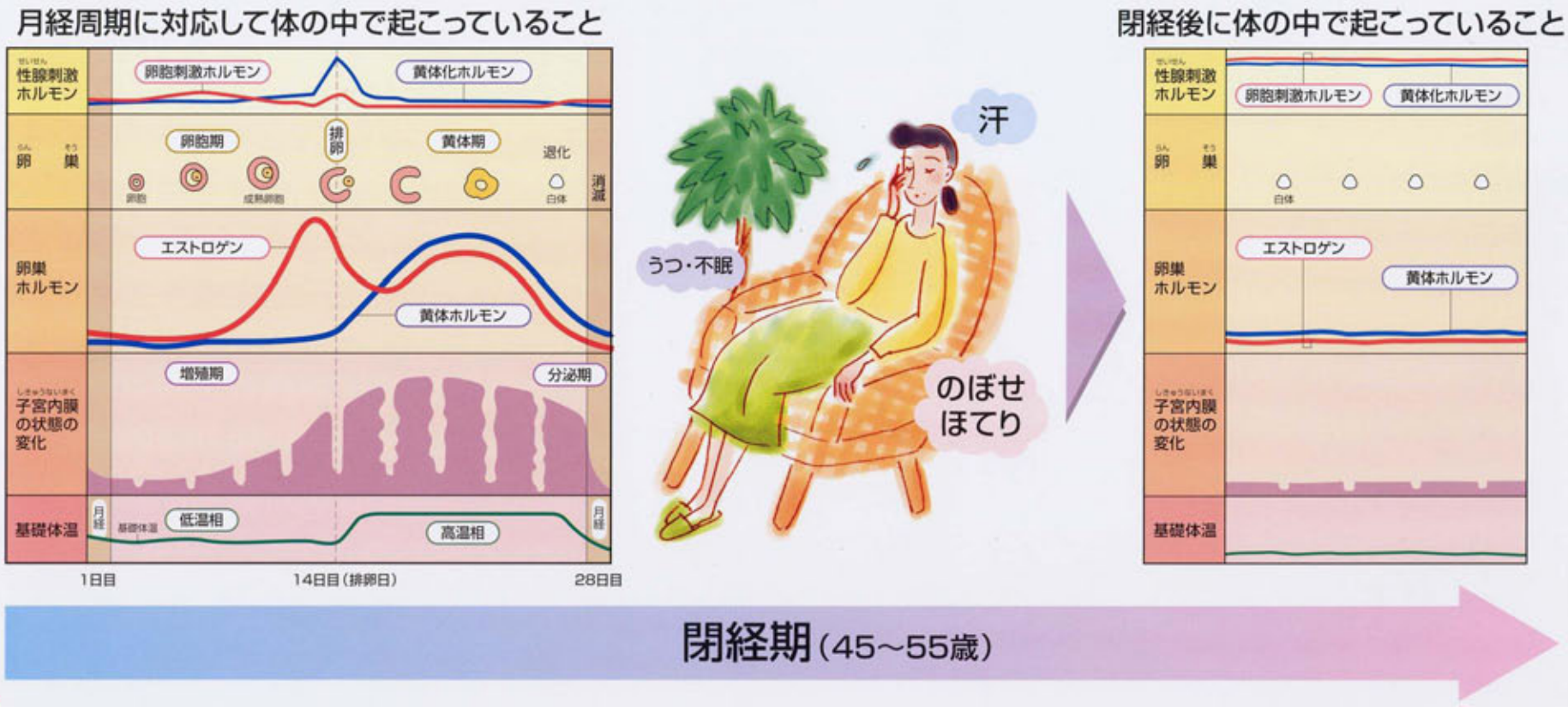
2009/7/26

_____様

# 閉経と女性ホルモン

## 更年期にはすべての女性のからだに変化がおとずれます。

エストロゲンは40年近くにわたり、女性の臓器保護の役割を担っていました。




下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# 自 己 診 断 表

| | 症　状 | 症状の程度 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 強 | 弱 | 無 |
| 熱　感 | 1. 顔がほてる | | | |
| | 2. 上半身がほてる | | | |
| | 3. のぼせる | | | |
| | 4. 汗をかきやすい | | | |
| 不　眠 | 5. 夜なかなか寝つかれない | | | |
| | 6. 夜眠っても目をさましやすい | | | |
| 神経質・ゆううつ | 7. 興奮しやすく，イライラすることが多い | | | |
| | 8. いつも不安感がある | | | |
| | 9. 神経質である | | | |
| | 10. くよくよし，ゆううつになることが多い | | | |
| 倦怠感 | 11. 疲れやすい | | | |
| | 12. 眼が疲れる | | | |

| | 症　状 | 症状の程度 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 強 | 弱 | 無 |
| 記憶障害 | 13. ものごとが覚えにくくなったり，もの忘れが多い | | | |
| 胸部症状 | 14. 胸がドキドキする | | | |
| | 15. 胸に圧迫感がある | | | |
| 疼痛症状 | 16. 頭が重かったり，頭痛がよくする | | | |
| | 17. 肩や首がこる | | | |
| | 18. 背中や腰が痛む | | | |
| | 19. 手足の節々（関節）の痛みがある | | | |
| 知覚異常 | 20. 腰や手足が冷える | | | |
| | 21. 手足がしびれる | | | |
| | 22. 最近音に敏感である | | | |

日産婦生殖・内分泌委員会

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# 膣炎・尿失禁

## “性交障害・老人性膣炎”

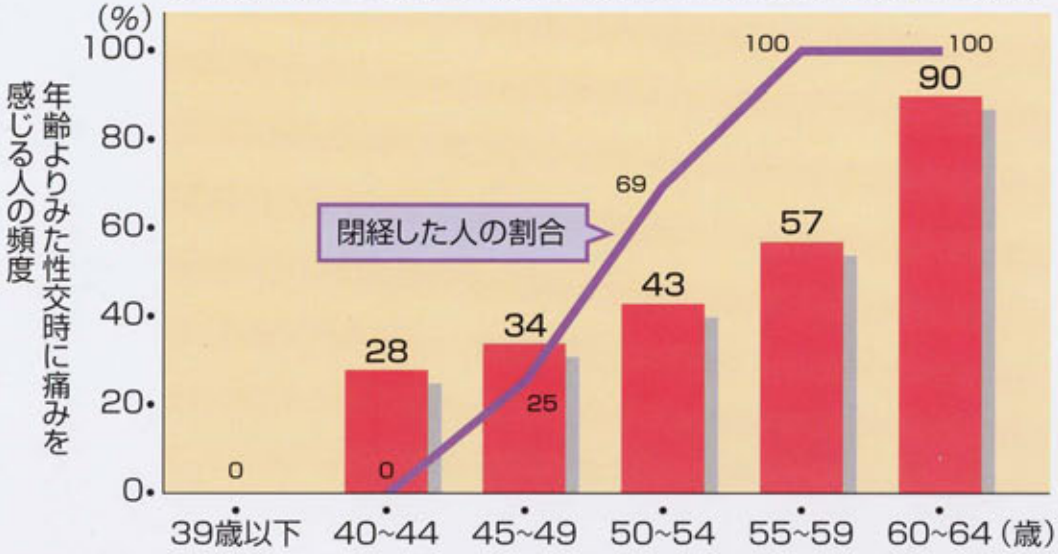
膣の粘膜が弱くなって分泌物が減少するので、性交時に痛みを感じたり、出血を起こしたりすることがあります。

**ホルモン補充療法を受けると、膣の粘膜が若返り、分泌液も増えます。**

## “尿失禁”

おなかに力がかかった時に、尿が漏れることがある。

60歳代前半の女性では9割が性交時に痛みを感じています




(廣井正彦：中高年婦人の性, ホルモンと臨床, 38増刊号, 1990より)

- 咳やくしゃみをした時
- 急に走った時
- 笑った時
- 重い荷物をもった時

など

**症状が軽い人は体操療法が有効です。症状が重ければ手術で治すこともできます。**

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理

2009/7/26

_____様

# 萎縮性膣炎

- 閉経後（女性ホルモンの欠落状態）１０～ ２０年でおきる
外陰部掻痒感、違和感、不正性器出血などの炎症症状
- 原因は女性ホルモン欠乏による皮膚でのコラーゲン減少
によるといわれています
- 子宮癌検診で異常なければ治療を行います
- 治療法；①ホルモン剤の膣内投与
②ホルモン剤の貼り薬（2日1回半分ずつ貼ります）
③ホルモン剤の経口投与（ホルモン補充療法）
- いずれの治療の場合でも約2～3週間で症状は軽くなります
- 治療の継続については医師とよく相談の上決定してください

下関市立済生会豊浦病院　岡田　理